



「Make School」 第2弾

先日、文部科学省から次期学習指導要領案が公開されました。新聞紙上などでこぞって取り上げたのが、「鎖国」→「幕府の対外政策」、「聖徳太子」→「厩戸王」という表記の変更、また「外国語活動」が小学校3年から導入され、小学校5年では「外国語」が追加されるということです。そして更に注目を浴びているのが、小学校3年から導入される「プログラミング」です。「プログラミング」は論理的思考力を身に付けるための学習です。

さて、昨年の6月にそのプログラミングの紹介を行ったのを覚えていますか。シリコンバレーで活躍する「Make School」のJeremy Rossmann氏をお招きしました。当日はすべて英語での進行にもかかわらず、本校の生徒も50名ほど参加しました。

今回は、Make Schoolのカントリーマネージャーである野村美紀さんをお招きし、理論だけではなく、プログラミングの実践的なことも企画しています。進路に関するお話も聞けると思います。(野村氏のプロフィールを見てください)

実施日は3月14日の答案返却日(中3は残念ながら卒論発表日)です。関心のある生徒は是非申し込んでください。

■ Make School

本場シリコンバレーでアプリケーション開発をはじめとするプログラミングスクールを展開。同社が開催するスクール・講座は、マサチューセッツ工科大、スタンフォード大など、米国のトップ大学への合格者を輩出しているだけでなく、GoogleやFacebook、Appleなど大手IT企業における即戦力として、米国内にとどまらず世界的に高い評価を得ています。(Make School web サイトより)

Miki Nomura

Country Manager Japan at Make School

academic background The University of Tokyo

Miki is Country Manager Japan at Make School, which is building the world's first Product College - an institution focused on educating and empowering students to create products that leverage technology to make the world a better place. Her role is to create a successful story of Make School in Japan, including Summer Academy, which is a 1 month summer program for junior high and high school students to learn to design, code, and ship an iPhone app or game.

She was a creative member at aircord and takes a role in software development, project management, office management. aircord is an interactive creative team which focuses on the fusion of technology and entertainment.

She also has unique experiences in tech start-ups and has been responsible for managing the projects in Business Development in each company.

In 2014, she studied abroad to UC Berkeley in order to explore the possibilities of technology. She learned computer science and information study at UC Berkeley, not only political science and



economics.

Professional Experience

Goldman Sachs Summer Internship, Tokyo, Japan (2013/8)

McKinsey & Company Winter Internship, Tokyo, Japan (2013/12)

Origami Inc. Business Development Intern Tokyo, Japan (2013/8 - 2014/7)

GAP Japan Inc. Sales Associate Tokyo, Japan (2011/9 - 2012/8)

(Linkedin より抜粋)

海城中学高等学校「Make School」実施要領

日 時	3月14日(火) 11時30分~13時(若干延長の可能性あり)
場 所	未定(参加人数によって後日決定)
テ ー マ	○プログラミング 簡単なゲーム作成など ○テクノロジーの可能性についての講義 ○キャリア・進路についての話 (参加状況により変更の可能性あり)
使用言語	日本語、英語(英語レベルは問いません)
ツ ー ル	通常の筆記用具、コンピュータ等(なくてもよい)
申し込み	3月1日(水)までにA4程度の紙に ○学年 組 氏名 ○英語能力(自己申告でよい) ○参加理由(簡単でよい) を書き、グローバル教育部に提出
そ の 他	上記に変更、追加が生じた場合は、追って連絡します

模擬国連練習会報告

グローバル同好会の「模擬国連練習会」の活動が活況を呈しています。年が明けてから既に4回行われています。練習会の時は数校が参加し、会議の準備、運営等をすべて生徒が行います。中高一貫の私立学校が集まるので、中学1年生から高校2年生までの男女が一緒に活動します。英語が得意でなくても大丈夫です。議事進行やスピーチは英語ですが、交渉は基本日本語です。この練習会で鍛え上げられたメンバーが将来「全日本高校模擬国連大会」に挑むことになるわけです。

洗足学園で開催された練習会について、グローバル同好会顧問の永田先生が紹介してくれています。興味を持った方は是非グローバル同好会に参加して下さい。



浅野学園での練習会

先日2月11日(土)、12日(日)の2日間、神奈川県川崎市にある洗足学園中学高等学校にて模擬国連大会 Japan Metropolitan Model United Nations (JMMUN) が開催され、本校からはグローバル同好会に所属する高校生6名、中学生2名の計8名の生徒が参加しました。大会引率を担当した英語科の永田から、大会の様態と本校生徒の取り組みの様子について簡単にご報告致します。

なお、馴染みがない方のために簡単に説明すると、「模擬国連 (Model United Nations)」とは、国連機関における特定の国際会議のシミュレーションを通じ、青少年の国際問題への理解や、議論および交渉能力の向上を図る教育プログラムです。主に参加者はある国の代表団という役割を与えられ、特定の議題に対して当該国の立場や利害関係、歴史などを事前に調べ、当日は他国代表団との議論や交渉を通じ、最終的にその会議の成果物としての決議案の採択を目指します。日本では長い間、大学生を中心に広がっていましたが、ここ10年ほどは、高校生を対象とした全国大会が開催されるなど、中等教育における応用も進んでいます。

なお、今回本校生徒が参加したJMMUNは、今年で3回目の開催を迎える洗足学園主催の非公式の模擬国連大会で、本年の大会は参加者が初めて300名を超え、初級、中級、上級の3会場にわかれての開催となりました。広島や京都など遠方から参加した学校も多く、どの会場においても会議開催中の2日間に渡って熱心な議論が繰り広げられました。



また本大会の特徴として、通常、高校生を対象とした模擬国連大会では非公式交渉場面において主に日本語が使用されることが多い一方、本大会では中級・上級クラスで会議進行、公式発言、非公式交渉場面のいずれにおいても英語の使用が義務付けられたという点が挙げられます。そのため、他校からの参加者の多くが英語力という面でかなり能力の高い生徒たちであり、本校から参加したメンバーも当初は彼らの流暢な英語に圧倒されているようでした。しかしながら、いざ交渉が始まると「うまく言おう」や「恥ずかしい」などと躊躇している余裕がないと気付いたのか、議場で展開されている交渉へ果敢に挑んでいる生徒が多く見受けられました。こうした場面において、交渉の場に立つことを最優先し、自分の英語力に対してある意味開き直り、どうしたら相手に伝わるのかを真っ先に考えることができるのは本校生徒の強みなのかもしれません。普段、他校で行われる模擬国連練習会などで日本語を用いての交渉において周りを牽引しているような生徒も、正直今回は悔しい思いをしたと思います。しかし引率の教員として会議後に彼らの表情を見たところ、もう次に何に取り組むかということで頭がいっぱいのような様子でした。心底悔しいと思えることを中学生や高校生など人生の比較的早い時期に経験できるというのは、模擬国連のような挑戦的な取り組みに参加することのひとつの利点であると感じました。羨ましい限りです。

また本校の参加成績としては、上級クラスにおいて中学3年の山田健人くんが最優秀大使賞 (Best Delegate Award) を受賞し、会議議長用の槌 (gavel) を記念品として授与されました。

彼は会議中も様々な国の大使団を相手に自国の立場、そして国際社会の利益を踏まえた議論を展開し、交渉の重要な場面でも飛び抜けた働きをしていました。こうした立派な賞を受賞した彼はもちろんですが、彼以外の生徒も含め、当日参加した全ての生徒を讃えたいと思います。彼らには是非、こういった経験を通じ手にしたノウハウを同好会内に何らかの形にして蓄積し、同学年の他の生徒や後輩がより英語での模擬国連に取り組みやすくなるような土壌を整えていって欲しいと願っています。

AIU US High School Diplomats in 京都

「第24回 AIU 米国高校生国際交流プログラム」京都開催の案内が届きました。全国で男女20名しか参加できないプログラムですが、本校からは4年連続選ばれています。下記に申し込み要領を掲げておきますので、関心のある生徒は申込用紙をグローバル教育部まで取りに来て下さい。ダウンロードすることも出来ます。去年参加の田向君の体験記事は、「グローバル通信第37号」に載っています。

実施日 2017年7月27日～8月8日

場所 京都

内容 米国で選抜された高校生と日本国内で共同生活をし、「高校生外交官」として国際交流を体験するプログラム。

費用 プログラム参加費は無料

対象 高校2、3年生

1校から4名以内(申込者が多い場合は内部選考を行います)

締め切り 4月10日必着

ただし、内部選考の可能性もあり、春休みに入ってしまうので、校内締め切りは3月14日とします。

その他 不明の部分はグローバル教育部に問い合わせして下さい。

AIU US High School Diplomats in 京都
第24回 AIU米国高校生国際交流プログラム 参加費 無料

高校生外交官 大募集!!

【応募期】 2017年4月10日(月)必着
【選考方法】 一次:申込書による直接選考
二次:面接等 6月14日(日)
【実施期間】 2017年7月27日(木)～8月8日(火)
【募集人数】 20名(男女各10名)

AIU 米国高校生国際交流プログラム事務局
〒100-8305 東京都千代田区千代田1-2-4 アール・エス・ティ
Tel: 03-5519-3030 Fax: 03-5519-2334 E-mail: hsd@aiu.edu.jp
AIU 米国高校生国際交流プログラム事務局
〒100-8305 東京都千代田区千代田1-2-4 アール・エス・ティ
Tel: 03-5519-3030 Fax: 03-5519-2334 E-mail: hsd@aiu.edu.jp

再通知!

2月25日(土)、「海外留学・海外大学進学講演会」が開催されます。生徒諸君は勿論のこと、保護者の方も是非いらして下さい。申し込みをしていない場合でも、当日直接来て下さって結構です。

日時 2月25日(土) 午後1時30分～3時

場所 本校講堂(上履きをご用意下さい)

講演者 西澤めぐみ(留学カウンセラー)

※詳細については、「グローバル通信第41号」をご覧ください。